

季刊

青春本棚通信

第
24
号

2022
夏

LINEUP

- ◇第9回松山市立中央図書館ビブリオバトルを開催します
- ◇図書館ってどんなところ？ Vol. 1 移動図書館のヒミツ
- ◇本好きのコーヒープレイク ～ 夏こそミステリー～
- ◇青春ひとことLINE ～ 図書館の人にきいてみた～
- ◇図書館ダンジョン・エクスプローラー ～ 秘蔵図書探索～
- ◇図書館投稿のススメ ～ 青春本棚で投稿を紹介してみよう～

第9回松山市立中央図書館 ビブリオバトルを開催します

日時：令和4年10月29日(土)午後1時～[予定]

場所：松山市湊町七丁目5 松山市総合コミュニティセンター1階展示室

対象：松山市内在住の中学生・高校生

定員：中学生の部・高校生の部 各部6名程度(応募多数の場合は抽選)

申込期間：令和4年9月14日(水)～10月14日(金)

申込方法：中央図書館事務所までEメールまたはFAXで、氏名・連絡先・学校名(学年)・発表本をご連絡ください。個人・学校どちらからでもかまいません。

【ビブリオバトルの申込・問い合わせ先】

中央図書館事務所 ビブリオバトル担当(※Eメールは件名に「ビブリオバトル」を入れてね) 電話：943-8008 FAX：933-9968

Eメール：lib-ev1@city.matsuyama.ehime.jp

ビブリオバトルをやってみよう！



ビブリオバトルは友だち同士で気軽に楽しめる『本の紹介コミュニケーション』ゲームなのじゃ！ルールは下のとおりカンタン！
ゲームの勝ち負けの楽しさだけでなく、5分で本を紹介する**プレゼン能力**も上がるし、**友だちの好みを知ったり、新しい本との出会い**もあるゾイ！

ビブリオバトル公式ルール

台本ナシで喋る！
このドキドキ感が
たまりません♪

1. ひとり1冊ずつ**オススメ本**を持って集合！

本のテーマは原則自由。ただし「食べものの本」など各バトルで設定してもOK。同じく本の種類も制限可。(コミックや雑誌などはNG)
大事なことは、必ず自分が読んで選ぶこと！



2. 開戦！順番に**制限時間5分**でオススメ本を紹介します。

バトラーの持ち時間は厳守！5分を過ぎたら発表終了だよ。資料は用意せず、バトラーも本だけ持っていざ勝負！原稿を読むより自分の言葉で生き活きと語れば皆の心に響くよ。
バトラーのほかに発表を聞いて投票する観覧者がいても盛り上がるよ！



3. それぞれの発表の後に、**制限時間2分**で**ディスカッション(質疑応答)**します。

バトラーの揚げ足をとったり批判はしないで。分からなかったり気になったことを全員で聞いてみよう。

4. すべての発表が終わった後、全員で「どの本が一番読みたくなったか？」の投票をし、最も多く票を集めた本が「**チャンプ本**」の栄誉

全員で1人1票。バトラーも投票できるよ。でも自分の作品には投票しないこと！



図書館ってどんなところ？

Vol. 1 移動図書館のヒミツ



図書館の裏側をご紹介します新シリーズ「図書館ってどんなところ？」、第1回目は「移動図書館つばき号」に迫ります！

移動図書館ってご存じですか？松山市立図書館には4台の移動図書館車があり、図書館から遠い場所にお住まいの方にも本を借りてもらえるように、市内167ヶ所のステーションを2週間に1度、同じ曜日の同じ時間に巡回しています。市立図書館のカードで利用でき、返却は、移動図書館だけでなく、どの市立図書館(中央・三津浜・北条・中島図書館)でもできます。



1号車



2号車



3号車



4号車

移動図書館車は4台ともデザインが違います。これらのラッピングデザインは、デザイン系専門学校生からの公募や、大学生と中学生のコラボデザインの中から選ばれました。

市内を元気に走る移動図書館。あなたは4台とも見つけることができるかな？



移動図書館車の扉を開けた様子。約2,800冊の本が積みめす。

図書館の地下にある移動図書館書庫もご紹介します！



棚にびっしりと積み込まれているのは、それぞれの巡回場所へ運ぶ予定の予約本。予約をすればどの市立図書館の本も移動図書館で借りられます。

お家の近くのステーションを探して、夏休みにはぜひ移動図書館も利用してみてくださいね。

若き世代に新たな世界の扉を開く、すばらしき読書のひとときを――

本好きのコーヒブレイク



図書館で働くオトナたちはやっぱり本が大好き！そんなオトナたちが一息つくコーヒブレイクに、今回は「夏こそミステリー！」ということで図書館員のおすすめの一冊を紹介します。さあ、あなたも新しいミステリーの扉を開いてみませんか？

『ミステリと言う勿れ1～10巻』（田村 由美//著・小学館）

菅田将暉さん主演ドラマの原作コミックです。独特な感性と独特な髪型をした大学生の主人公・久能整(くのう ととのう)は、仕事や趣味として探偵をしているわけではないのに、何故か事件に巻き込まれてしまいます。

持前の感性や観察眼を活かして事件の本質や真犯人を導き出しますが、内面を見抜けてしまうのに、一言多い性格が災いし、相手を激高させてしまうこともしばしばあります。女性や子供といった社会的弱者の憤りを代弁する場面が多く、男性の読者は考えさせられる事が多いかもしれません。SF作品の多かった田村由美さんの新しい世界観、どなたでも楽しめると思います。

(図書館・花岡)



分類番号 726.1-タ

『クール・キャンデー』（若竹 七海//著・祥伝社）

殺人の疑いをかけられた兄の無実を証明するため、楽しみにしていた夏休みを犠牲に奔走する中学生の渚の目線で語られるこの物語は、ページをめくる速さが段々上がって、気づいたら読み終えてしまっているような疾走感があります。

爽やかさのある題名とは裏腹な、夏のけだるさが残ったような感覚になる衝撃的な結末は、若竹七海さんらしい作品だなと思います。ページ数が160ページほどなので、普段読書をあまりしない人でも読みやすいと思います。『クール・キャンデー』は“葉崎市シリーズ(7作品)”のなかの1つですが、葉崎市という舞台が同じだけで続き物ではないので、気になったらどの作品からでもぜひ読んでみてください。

(図書館・松澤)



分類番号 F-ワナ

『屍人荘の殺人』（今村 昌弘//著・東京創元社）

大学のミステリ愛好会の部員である葉村譲は、会長の明智恭介とともに、曰くつきと噂される映画研究部の夏合宿に参加することになった。同行するのは、同じ大学に在籍し、名探偵と名高い剣崎比留子。和やかに始まったと思われた合宿初日の夜、譲たちはありえない事態に見舞われ、別荘に立てこもらざるを得なくなってしまう。救助がいつ来るかもわからない中、部員の一人が密室で死体となって発見された。内には殺人犯、外にも逃げられないという絶体絶命の状況下、果たして犯人を見つけることはできるのか？...

というのが、あらすじなのですが、本作はいわゆる密室殺人&クローズドサークル(外界との接触が断たれた状況下で起こる事件)ものですね！特殊なのは、主人公たちが巻き込まれる、ある状況。この状況を有りか無しかとする事で、この作品に対する評価がガラリと変わってきます。有りだと、この作品ホントに傑作なんですよ！一気読み必至の展開、よく練られたトリック、そして…何とも言えない余韻を残すラスト！『魔眼の匣の殺人』『兇人邸の殺人』と続いていますので、ぜひぜひどうぞ。

(図書館・河村)



分類番号 F-イマ